新年のご　あいさつ

垂水市長　尾脇 雅弥

スピード感を持って
元気な垂水市の実現を目指す

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年、国内では、『大阪・関西万博』が開催され、2900万人を超える方々が来場する歴史的な祭典となりました。一方で、クマによる被害や地震、大雨、山火事等による災害で多くの方が犠牲となりました。お亡くなりになられた方々に心から追悼の意を表しますとともに、被害に遭われた全ての方々に心からお見舞い申し上げます。また、被害に遭われた皆様が一日も早く復旧・復興できることをお祈り申し上げます。

垂水市では、垂水高等学校が創立100周年を迎え、記念講演会には、本市出身で株式会社ナガセの永瀬昭幸（あきゆき）代表取締役社長と東進ハイスクール国語科講師の林修（おさむ）様にご登壇いただきました。同校は『元気な垂水市』の象徴であり、地域の未来を支える大切な存在です。

今後も市民の皆様とともに同校の振興や活性化に取り組んでまいります。また、公共交通空白地等の各地と中央地区を結ぶ事前予約型『乗合タクシー』においては、住民の方から切実な願いについてご相談いただき、10月からの運用方法の一部変更に合わせて事業を見直し、充実を図ることができました。全国の皆様からご寄附いただいておりますふるさと納税は20億円～25億円を見込んでおり、皆様のあたたかいご支援に、心から感謝申し上げます。

さて、2026年は『午年（うまどし）』です。馬は駆ける動物であることから、スピーディーな展開や、エネルギーに満ちた積極的な行動を象徴します。本年も『元気な垂水市』を実現するために、積極的な財政運営を図りながら『笑顔があふれるまちづくり』『安心なまちづくり』『潤いのあるまちづくり』の3つの重点施策を基本に、子育て支援や高齢者支援、産業振興・経済活性化、デジタル技術を活用した市民幸福度の上昇等に関する事業をスピード感を持って推進してまいります。

また、本市発展に最も重要な施策である『錦江湾横断道路の実施路線化』については、地域活性化や交流人口の創出、そしてなにより市民の皆様の大切な『命を守る』ための緊急搬送のできる道路としても必要不可欠だと考えております。今後も関係団体等と連携して、早期実施路線化に向け活動してまいります。

結びに、市民の皆様との対話やタイムリーな情報発信を心掛けるとともに、国や県などの関係機関と連携して本市の発展と市民の皆様の幸福度の向上を実現するための施策をしっかりと前進させてまいりますので、皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。本年も皆様方にとりまして素晴らしい年となりますことを心から祈念申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

垂水市議会議長　北方 貞明

未来へつなぐ
市議会を目指して

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。今年一年が皆様にとって穏やかで健やかな年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。市民の皆様には、日頃より市議会活動にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、8月7日から8日にかけ、霧島市や姶良市では記録的な大雨となりました。被害に遭われた方々へ心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念申し上げます。幸いにして、本市に対する大きな影響はなく安堵したところでしたが、改めて自然災害の脅威と、備えの重要性を痛感したところです。また、夏場の猛暑は、農業や水産業をはじめ市民生活にも影響し、こうした厳しい環境の一方で、秋には垂水千本イチョウが見事な黄金色に輝き、多くの皆様に感動を与えてくれました。この光景は、私たちが共に力を合わせ、未来へ向かう希望を抱く契機になるものと思います。

市長とともに二元代表制を支える市議会としての役割を自覚し、引き続き住みやすいまちづくりを目指して、市民の皆様の声にしっかりと耳を傾けてまいります。市議会へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

現在市議会では、議員定数や報酬、政務活動費について議論を進めております。昨年6月には議員定数等調査特別委員会を設置し、調査や議論を行ってまいりました。今年3月には市民の皆様に一定の方針をご提示できるよう努めてまいります。この課題は、市議会の今後のあり方を見直す重要なものと認識しております。議員一人ひとりが真摯に向き合い、未来の垂水市議会の指針をお示しする決意です。

市議会では市民との対話を重視し、1月には市内6会場で「議会と語る会」を開催する予定です。そこで議員自らが、議員定数等調査特別委員会での検討事項を説明し、市民の皆様から率直な意見やご要望をお聞きできれば幸いです。また、アンケート調査も併せて実施しておりますので、ぜひご回答いただけますようお願い申し上げます。

これらの取り組みを契機に、より多くの市民の皆様に市議会活動への関心を持っていただき、ともに議論を深めていければ嬉しく思います。

結びに、今年一年が災害のない充実した一年でありますよう、そして垂水市の未来がさらに豊かなものになるよう、議長としての責務を果たすべく精進する覚悟で、市民の皆様とともに歩んでまいります。本年が皆様にとって良き一年となりますことを心より願い、新春のご挨拶とさせていただきます。